

2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年11月10日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東
コード番号 7079 URL <https://www.wdbcoco.com/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 谷口 晴彦
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 藤原 素行（TEL）03-5144-2250
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	2,157	9.2	540	2.9	541	2.5	369	4.2
2023年3月期第2四半期	1,976	13.7	525	△2.4	528	△2.0	354	0.6
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
2024年3月期第2四半期	円 銭 153.78		円 銭 153.60					
2023年3月期第2四半期	148.39		147.48					

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 3,919	百万円 3,075	% 78.5
2023年3月期	3,660	2,802	76.6

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 3,075百万円 2023年3月期 2,802百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 41.0	円 銭 41.0
2024年3月期	—	0.00			
2024年3月期(予想)			—	75.0	75.0

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

業績予想に関する序文

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,665	14.6	1,150	5.9	1,150	5.7	776	4.4	323.08

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2024年3月期2Q	2,405,000株	2023年3月期	2,402,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2024年3月期2Q	121株	2023年3月期	121株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年3月期2Q	2,402,207株	2023年3月期2Q	2,388,379株
------------	------------	------------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

医薬品開発にあたっては、10年以上の年月と数百億円～数千億円の高額の費用がかかります。また、技術革新によって従来の低分子化合物からバイオ医薬品、遺伝子治療薬など治療手段の多様化・複雑化が進むことで創薬のハードルが高まっており、新薬開発の成功確率は約2万3千分の1にまで低下をしています。このため、製薬企業は、医薬品の製造販売の承認を受け上市してから特許の有効期間が切れるまでの間に、投資した多額の研究開発費を効率よく回収することが求められています。

製薬企業は、臨床現場における安全性に関する情報を収集することで医薬品の適正使用の促進に取り組み、製造販売後に様々な調査や試験を実施することで、有効性・安全性がより高い医薬品に改良するとともに、適応の追加や剤型の変更などによって新たな特許を取得しています。また、医師が行う臨床研究に協力することで、上市した医薬品を用いた新たな治療法の創出や、既存の治療法における有効性の証明といった育薬活動を行っています。製薬企業においては、これらの製造販売後の育薬活動の成果の最大化を図るとともに、医薬品の開発から育薬までの業務プロセスの効率を高めて研究開発のコストを最小化することで、医薬品の価値を最大化することが重要となっています。

このような状況の中、当社は「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じて、お客様の課題を解決し医療の未来に貢献することを経営理念とし、最新のテクノロジーと優れたビジネスモデルを用いて、顧客に最適な業務プロセスを提案・実施する製薬企業にとって不可欠なパートナーとして、臨床試験・製造販売後の段階で実施される「安全性情報管理サービス」を軸に、製造販売後に実施される「製造販売後調査支援サービス」、「ドキュメントサポートサービス」、「臨床研究支援サービス」を展開しております。

当四半期においては、安全性情報管理、製造販売後調査支援の各サービスにおいて前第3四半期以降に稼働を開始した複数の新規顧客からの受託案件、既存顧客からの追加受託案件のほか、2023年6月15日付けで吸収合併したWDB臨床研究株式会社における臨床研究サービスの売上が寄与しました。また、各既存案件においては、利益率改善の取り組みとして業務効率向上の取り組みを強化しました。

この結果、売上高は2,157百万円と前年同期比181百万円(9.2%増)の増収となりました。また、営業利益は540百万円と前年同期比15百万円(2.9%増)の増益、経常利益は541百万円と前年同期比12百万円(2.5%増)の増益、四半期純利益は369百万円と前年同期比14百万円(4.2%増)の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第2四半期累計期間末における流動資産は3,344百万円と前事業年度末と比べ297百万円(9.7%増)の増加となりました。これは主に、現金及び預金183百万円の増加、売掛金及び契約資産98百万円の増加によるものです。

(固定資産)

当第2四半期累計期間末における固定資産は574百万円と前事業年度末と比べ38百万円(6.2%減)の減少となりました。これは主に、WDB臨床研究株式会社の吸収合併による関係会社株式237百万円の減少とのれん等の増加による無形固定資産209百万円の増加によるものです。

(流動負債)

当第2四半期累計期間末における流動負債は691百万円と前事業年度末と比べ27百万円(3.8%減)の減少となりました。これは主に、未払法人税等30百万円の減少によるものです。

(固定負債)

当第2四半期累計期間末における固定負債は152百万円と前事業年度末と比べ13百万円(9.8%増)の増加となりました。これは主に、退職給付引当金10百万円の増加によるものです。

(純資産)

当第2四半期累計期間末における純資産は3,075百万円と前事業年度末と比べ272百万円(9.7%増)の増加となりました。これは主に、四半期純利益369百万円の増加、配当の支払98百万円によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は2,185百万円と前事業年度末と比べ183百万円(9.2%増)の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における営業活動によるキャッシュ・フローは219百万円の収入となりました。これは主に、税引前四半期純利益540百万円の計上による資金の増加があったものの、法人税等の支払い175百万円の資金の減少があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における投資活動によるキャッシュ・フローは19百万円の支出となりました。これは主に、2023年6月のWDB臨床研究株式会社の吸収合併に伴い実施した東京オペレーションセンターの拡張によって発生した固定資産の購入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間末における財務活動によるキャッシュ・フローは103百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払い98百万円によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在なリスクや不確実性を含んでいます。2024年3月期の業績予想につきましては、2023年5月12日に公表しました「2023年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」において発表しております、売上高4,665百万円、営業利益1,150百万円、経常利益1,150百万円、当期純利益776百万円のまま、業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,001,899	2,185,847
売掛金及び契約資産	1,023,925	1,121,946
仕掛品	1,645	4,660
その他	20,312	32,336
流動資産合計	3,047,782	3,344,790
固定資産		
有形固定資産	131,300	139,777
無形固定資産	30,645	239,867
投資その他の資産	451,198	195,201
固定資産合計	613,144	574,846
資産合計	3,660,927	3,919,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	76,679	80,499
未払法人税等	194,347	163,567
賞与引当金	106,406	125,160
受注損失引当金	2,678	3,554
その他	339,003	319,042
流動負債合計	719,116	691,824
固定負債		
退職給付引当金	88,519	99,148
資産除去債務	34,964	34,972
その他	15,542	18,509
固定負債合計	139,026	152,630
負債合計	858,142	844,455
純資産の部		
株主資本		
資本金	279,248	279,983
資本剰余金	279,248	279,983
利益剰余金	2,244,756	2,515,683
自己株式	△467	△467
株主資本合計	2,802,784	3,075,181
純資産合計	2,802,784	3,075,181
負債純資産合計	3,660,927	3,919,637

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,976,414	2,157,680
売上原価	1,208,662	1,291,424
売上総利益	767,752	866,255
販売費及び一般管理費	241,879	325,306
営業利益	525,873	540,948
営業外収益		
受取利息	8	10
助成金収入	2,188	—
その他	29	113
営業外収益合計	2,225	124
営業外費用		
支払利息	86	66
営業外費用合計	86	66
経常利益	528,012	541,006
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	2,489
特別利益合計	—	2,489
特別損失		
固定資産除却損	—	2,701
特別損失合計	—	2,701
税引前四半期純利益	528,012	540,794
法人税、住民税及び事業税	150,296	144,296
法人税等調整額	23,303	27,094
法人税等合計	173,599	171,390
四半期純利益	354,412	369,403

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	528,012	540,794
減価償却費	15,655	15,579
賞与引当金の増減額(△は減少)	28,212	11,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	8,964	10,629
受注損失引当金の増減額(△は減少)	2,401	876
受取利息	△8	△10
支払利息	86	66
売上債権の増減額(△は増加)	△133,188	△54,904
棚卸資産の増減額(△は増加)	△19,802	△268
仕入債務の増減額(△は減少)	△992	3,493
未払金の増減額(△は減少)	△103,502	△89,264
その他	△38,987	△42,797
小計	286,849	395,193
利息の受取額	8	10
利息の支払額	△88	△66
法人税等の支払額	△269,713	△175,547
営業活動によるキャッシュ・フロー	17,055	219,590
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△43,513	△14,820
無形固定資産の取得による支出	△17,200	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△4,590
敷金及び保証金の回収による収入	13	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,700	△19,411
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△6,289	△6,372
株式の発行による収入	—	1,470
配当金の支払額	△95,478	△98,563
財務活動によるキャッシュ・フロー	△101,768	△103,465
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△145,412	96,713
現金及び現金同等物の期首残高	1,888,588	2,001,899
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	87,234
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,743,175	2,185,847

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。